

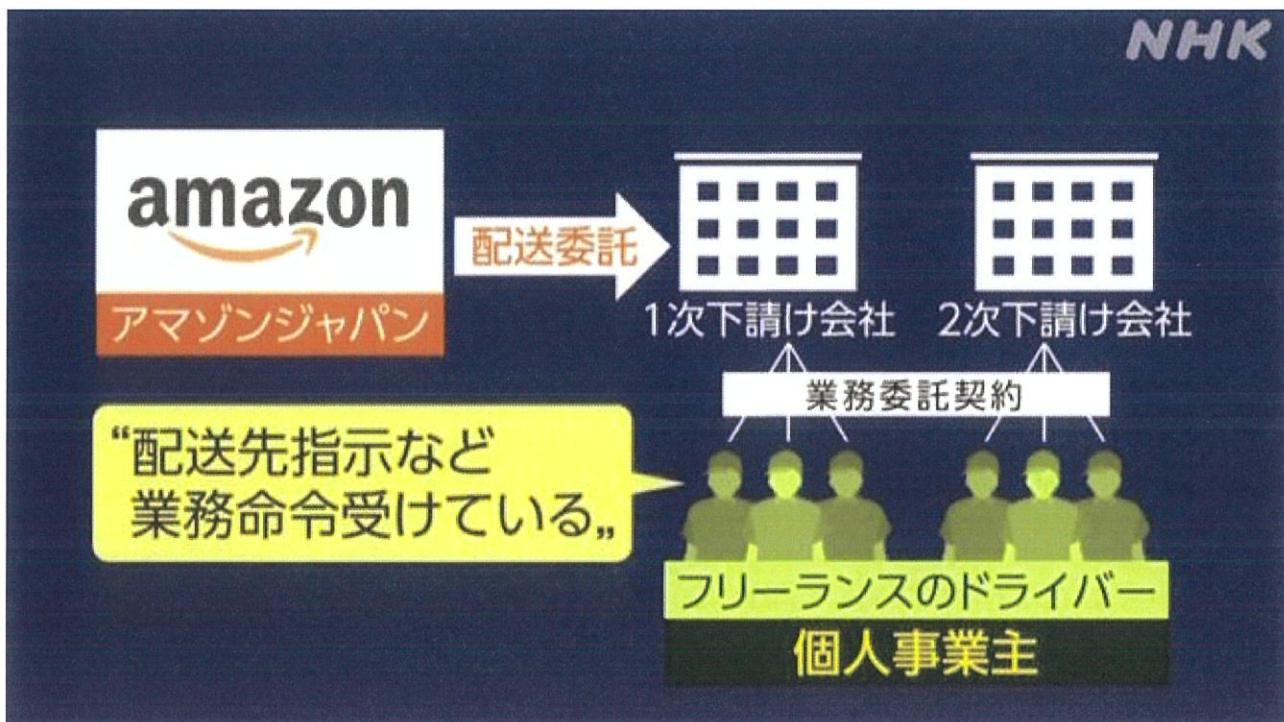
「アマゾン」の荷物配送 フリーランスのドライバーら労組結成

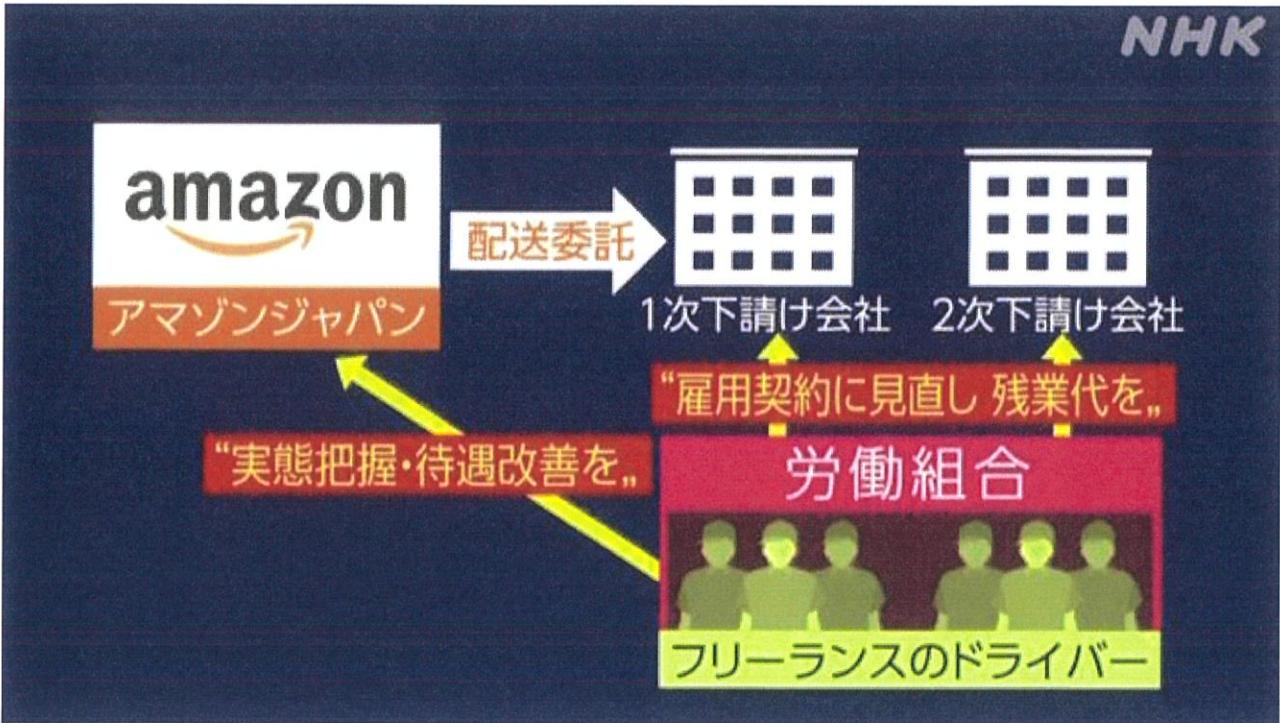
2022年6月13日 NHK

ネット通販大手「アマゾン」から荷物の配送を委託された下請け会社と契約を結ぶフリーランスのドライバーが、契約の見直しを求めて労働組合を結成し、下請け会社と委託元の「アマゾン」に長時間勤務の是正などを求めていくことになりました。

労働組合を結成したのは、「アマゾンジャパン」から配送を委託された神奈川県にある1次や2次の下請け会社と、それぞれ業務委託契約を結ぶフリーランスのドライバーおよそ10人で、2022年6月13日に都内で会見しました。

それによりますと、ドライバー1人当たりの担当地域が広がるなど、去年の夏ごろから運ぶ荷物が増加し、一日の勤務が13時間に上り、休憩をとることも難しい状況が続いているということです。





割り当てられた荷物は断ることはできず、会社からはアプリを通して配送先を指示されるなど、業務の指揮や命令を受けているとして、業務委託契約から雇用契約に見直して長時間勤務の是正や残業代を支払うことなどを求めています。

労働組合では、下請け会社だけでは対応が難しいとして、ドライバーと直接の契約関係はないものの、委託元の「アマゾンジャパン」にも実態の把握と待遇の改善を求めるということです。

支援する弁護士によりますと、「アマゾン」の荷物を運ぶフリーランスのドライバーが労働組合を結成したのは初めてだということです。

ドライバーの50代の男性は「フリーランスの契約ですが、運ぶ荷物の数を自分で決めることはできません。働く環境を改善してほしい」と話していました。

ドライバーと契約を結ぶ下請け会社は、NHKの取材に対して、いずれも「現時点ではコメントできない」としています。



「アマゾンジャパン」は「労働組合から書類を受け取り内容を確認しております。配送業者が安全でモチベーションの高い環境で配送ができるよう、委託先において稼働や管理などを責任を持って行っていただいております。原則として、許可をしていない再委託は認めていません。合理的でない複数の下請け構造が生まれないように努めております」とコメントしています。

アマゾン配達員が労組結成



アマゾンジャパン本社を訪問後、気勢をあげる「東京ユニオン・アマゾン配達員組合横須賀支部」の組合員ら=2022年6月13日午後、東京都目黒区

インターネット通販大手アマゾンジャパンの下請け企業と業務委託契約を結び、神奈川県横須賀市を拠点に働く配達ドライバー10人が2022年6月13日までに、「東京ユニオン・アマゾン配達員組合横須賀支部」を結成した。

組合員は個人事業主（フリーランス）として働くが、実態は雇用労働者と同じで、業務委託は「偽装」と主張している。

上部団体の労組「全国ユニオン」（東京）などによると、アマゾンの配達ドライバーによる職場単位での労組結成は初めてという。

組合員らは2022年6月13日午後、アマゾンジャパン本社（目黒区）を訪れ、団体交渉開催を要求した。アマゾン側は要求書を受け取ったという。本社訪問後には都内で記者会見し、労働契約の締結や長時間労働のは正、荷物の割当個数削減などを求めたことを明らかにした。

全国ユニオンによると、10人はアマゾンジャパンの1次、2次下請けとそれぞれ契約を結び、横須賀市内にある倉庫に運び込まれたアマゾンの商品を配送。配達員はアマゾン側から専用のアプリを通じ、荷物の個数や配送先などの指示を受けている。